

メールアドレスの漏洩についてのお詫び

令和7年4月10日

関係者の皆様

公益財団法人茨城県国際交流協会
理事長 根本 博文

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度、IBARAKI ネイティブコミュニケーションサポーター制度推進事業において、当協会職員がサポーターの皆様へ、活動報告の提出を依頼するメールをお送りした際、BCCとするところを誤ってToで送信してしまい、メールアドレスが漏えいする事案が発生いたしました。

関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

1 事案発生日

2025年4月7日（月）

2 概要

(1) 状況

- ・ 4月7日(月)に、委託先が、3月分の活動報告の提出をサポーター25名に依頼するメールを送る際、宛先をBCCで送信すべきところを誤ってTOで送信したため、送付した25名のサポーターがお互いにメールアドレスがわかる状態になってしまいました。
- ・ CCで送信されていた職員が誤送信に気づき、誤送信先にメールの削除を依頼するとともに謝罪いたしました。

(2) 漏えいした情報

IBARAKI ネイティブコミュニケーションサポーターの個人メールアドレス 25件

3 原因

電子メール送信時での人為的ミス

(メールを送信する際の確認が不十分であったため、本来「BCC」で送信すべき電子メールアドレス誤って「宛先 (To)」で送信したことによるもの。)

4 対応状況

- ・ 4月8日(火)に、当該電子メールの受信者様に対し、電子メールアドレス漏えいの報告及び謝罪をするとともに、当該電子メールの削除を依頼しました。
- ・ 4月8日(火)に、当該事業の委託元である茨城県県民生活環境部多様性社会推進課へ、当該事案発生の報告と謝罪をいたしました。

5 再発防止策

- ・ メール送信の際は、必ず複数名で内容・宛先を確認するなど慎重に対応することを徹底いたします。
- ・ 電子メールを含む個人情報の取り扱いについて、情報資産の管理に万全を期すよう協会内の情報管理体制の強化を図り、再発防止に努めてまいります。

<本件の問い合わせ先>

公益財団法人茨城県国際交流協会

事務局長 須能 俊光

電話：029-241-1611

Eメール：iia@ia-ibaraki.or.jp